夕刊
臺灣日日新報
九月二十八日

敵機十機を撃墜
ブイン、凄絶なる空中戰

【南太平洋○○基地二十八日發同盟】ソロモン方面に於ける敵の反攻は依然猖獗を極めてをり二十七日またも敵はコンソリデーテッドB二四、ボートシコルスキーF四U、ロッキードP三八など戰爆聯合八十機の大編隊を以てブーゲンビル島ブインに來襲、我が戰鬪機隊は直ちにこれを邀撃し壯絶な空中戰の後内十機を撃墜した、我が方も自爆一機を喪失した

ムンダ敵陣地を强襲

【南太平洋○○基地二十八日發同盟】海軍航空部隊は二十六日夜ニユーヂョーヂア島ムンダの敵陣地を强襲し、猛烈な敵の對空砲火を排除して命中彈を浴せその三ケ所を炎上せしめた、我が方全機無事歸還

フインシハーヘン 我猛撃に敵震撼

【リスボン二十七日發同盟】メルボルン來電＝西南太平洋反樞軸軍司令部ではニユーギニア戰線で濠洲軍がフインシハーヘンに向つて進撃したところ同地前面一キロの地點において日本軍の[illegible]な反撃に遭つて進撃を阻止されてゐる旨二十七日言明した

敵軍苦戰を自認

【リスボン二十七日發同盟】西南太平洋反樞軸軍司令部ブレーミーは二十七日反樞軸軍がフインシハーヘンに上陸した後もニユーギニア戰線の戰況は樂觀を許さず有力な日本軍の猛烈な抵抗を覺悟しなければならぬと言明した

英の魚雷艇 五隻撃沈破

【ベルリン二十七日發同盟】ドイツ軍當局の言明によれば英魚雷艇隊が二十七日早朝ドーヴァ海峽アニカンプ沖に於てドイツ護送船團を攻撃したがドイツ軍は直ちに邀撃英艇の大型魚雷艇二隻を撃沈、三隻を大破他を撃退した

汚辱を血で雪ぐ
歸還のム統帥決意放送

【ベルリン二十七日發同盟】ムッソリーニ統帥は二十七日午後イタリア外相の資格でイタリア國民に[illegible]放送し三國同盟締結の記念日に當り盟國に[illegible]し兩國の[illegible]に邁進することは誠に[illegible]ある旨を述べ三國同盟の[illegible]に基き盟邦各國と相携へて飽くまで共同の敵に對して戰爭を繼續する決意を表明した

う、ファシスト共和政府はイタリア國民が屈辱の日を[illegible]の上から抹殺し[illegible]した國王が祖國の傳統と光輝ある過去との上に將來しようとした汚辱を血をもつて洗ひ去るであらうイタリア軍は日獨兩國軍と相携へて各國民と各國の傳統とを[illegible]に陷れようとして手段を選ばず特に[illegible]を[illegible]する國際的陰謀團から全世界を救ひ出すであらう、日獨兩國の盟友諸君はファシスト共和政府下のイタリア國民が過去三ヶ年イタリア國民を動かしたと同樣な信義を以て三國同盟を飽くまで遵守することを信じて疑はない、これこそ三國共同の理想のために幾多の戰場において血を流したイタリア全軍將兵の意思である

三國同盟擁護 スロヴアキア

【ベルリン二十七日發同盟】ブレスブルグ來電＝スロヴアキア首相兼外相トウカ博士は二十七日三國同盟締結記念日に際り次の通り宣言した

三國同盟の記念日に當り我々スロヴアキア人は三國同盟並に其盟邦の軍隊が自由と權利の平等のために大國並に小國の關てを[illegible]して[illegible]協力するといふ[illegible]三國同盟の綱領を飽くまで防衞するであらうことを確信し盟邦と相携へて祖國の獨立自由のために飽くまで抗爭を繼續することを茲に新たに誓約する

共和憲法制定

【ベルリン二十七日發同盟】ローマ來電＝ムッソリーニ統帥は二十七日三國同盟締結記念日に際り[illegible]

三國同盟の勝利 クロアチア强調

【ベルリン二十七日發同盟】アグラム來電＝クロアチア外相ブダク博士は二十七日三國同盟締結記念日に際り次の通り言明した

今回の戰爭が三國同盟の勝利に終ることは謂ふまでもないが而して[illegible]各國人は多大の犧牲を[illegible]しなければならない、イタリア裏切ものに對しクロアチア人が正義の十字軍を起した結果ドイツ政府はダルマチア並にヒウメにおけるクロアチア民族の[illegible]

新政府支持
駐滿、伊外交機關聲明

【ベルリン二十七日發同盟】ローマ來電＝ムッソリーニ統帥のメッセーヂ成文次の通り

余のイタリア本國に對する[illegible]がファシストイタリアがナチスドイツ並に日本帝國を結んで解けないやうに結合した三國同盟調印の記念日に偶然一致したことは誠によい前兆であると思ふ、イタリア國ファシスト共和政府は最後の勝利まで飛び續ける決心である、國內陰謀團が一部裏切り分子と結託して企んだ[illegible]によりイタリア國民は今や一層明瞭に彼等が如何なる禍根に直面してゐるか[illegible]出來るに至つたので却つて兩國の[illegible]に決定的な影響を與へることとなら

【新京二十七日發同盟】駐滿イタリア公使ネローネ氏は去る十三日外交部に滿洲國外交部大臣を訪問し日獨伊三國協定に反しバドリオ政權の行つた無條件降伏を拒否し新ファシスト新國民政府を支持することを[illegible]した[illegible]の聲明文を手交した後、[illegible]イタリア外交機關全員は日獨と共に戰爭を繼續すべくファシスト新政府に[illegible]十分に[illegible]如何なる障碍をも克服[illegible]した、またハルビン駐在同國領事マッセ氏も同時にハルビン[illegible]

交部特派員を訪問して同趣旨のステートメントを手交した、ネローネイタリア駐滿公使が[illegible]大臣に手交した聲明文左の通り

駐滿イタリア公使ネローネ大佐及び同公使館員はバドリオ政府が日獨伊協定の規定に違反し連合國側交渉に依り行ひたるイタリア國の降伏を斷乎拒否するものなることを茲に聲明す、イタリア國公使館及び同公使館全館員にはイタリア國の[illegible]に忠實にして且つ[illegible]の下に必ず[illegible]

傀儡バドリオ政權
幽靈政權の列に墮す

【東京發】帝國政府は盟邦ドイツ政府と同調して二十七日ムッソリーニ統帥の共和ファシスト政府を正式承認するに決し[illegible]を見た、從つてバドリオ政權が[illegible]イタリアの正統政府たるの地位は全く否認されたわけでバドリオ政權はその[illegible]として成立、僅か二ケ月にして[illegible]く[illegible]を化しまり[illegible]ポーランド、オランダその他の[illegible]下英米の翼下に[illegible]けてゐる[illegible]の列に伍したわけである、今後[illegible]國のイタリアとの關係は[illegible]ムッソリーニ統帥の新政府に依つて代表されるが、[illegible]

アを[illegible]して二國同盟の契りは[illegible]く[illegible]不[illegible]のものとなつたといふことが出來る、ムッソリーニ統帥は自由の身になつて以來先づ「[illegible]イタリア」の[illegible]工作に[illegible]し[illegible]分子の[illegible]合に成功した[illegible]、二十三日イタリア共和ファシスト政府の組織を完了して[illegible]と共に國民と國家とを一致の安定に[illegible]代へて[illegible]したサヴオイア王家を[illegible]する[illegible]ムッソリーニ統帥[illegible]の新イタリアは[illegible]共和政體を[illegible]るべく共和ファシスト政府ではこれがため新憲法の制定を[illegible]といはれるが、斯くて[illegible]イタリアは[illegible]して[illegible]に大きく[illegible]くこととなつたものである

樞軸必勝、宇內に正義
三國同盟三周年　重光外相放送演說

【東京發】三國同盟締結三周年記念日に當り重光外相は二十七日午後七時半東京放送局より、リッベントロップ獨外相との間に交歡放送を行つてバドリオ政權の裏切りにも拘らず[illegible]同盟は[illegible]として動かすべからざるものであると同時に今[illegible]成立したイタリア國ファシスト共和政府の[illegible]に多大な[illegible]をもつ[illegible]

三年に亙つて洋の東西において[illegible]く[illegible]に[illegible]なく[illegible]を[illegible]して來た[illegible]同盟が[illegible]し[illegible]利に依つて同盟の[illegible]世界正義を[illegible]することを[illegible]はぬ[illegible]を[illegible]した[illegible]が東亞において[illegible]しつつある[illegible]は[illegible]に[illegible]つて大ドイツ帝國及び其他の[illegible]同盟國が歐洲において[illegible]しつつある[illegible]であると[illegible]の[illegible]に[illegible]する[illegible]い決意を[illegible]した

重光外相放送要旨

樞軸同盟の企圖する所は宇內に正義を布かんとするにあつてまさに世界の大河を形むものである、その精神は如何なる時代に[illegible]つても[illegible]するものではない、[illegible]

とをもつてバドリオ政權の背信行爲を[illegible]するとも樞軸同盟の存在は嚴として動かすべからざるものであり同盟[illegible]は[illegible]として日月の如く樞軸諸國の勝利へ[illegible]してゐる次第である、ムッソリーニ首相は今日同盟締結の記念日をもつて新共和ファシストイタリアの

元首の　椅子につかれる

こととなつて而も盟邦ドイツと共に[illegible]ちに同政府を承認した、斯くして新イタリアは再びムッソリーニ首相の下に[illegible]に依り[illegible]せられたる[illegible]條件降伏の[illegible]と不名譽から救はせられ光輝ある[illegible]の[illegible]を[illegible]ることは[illegible]して[illegible]べきものがある、われ〳〵は[illegible]として

[illegible]世界[illegible]の[illegible]分子として他の[illegible]及び他民族と[illegible]共に生存する[illegible]の[illegible]を有するものである、この[illegible]の生存[illegible]が[illegible]に[illegible]せらるるに至つてわれわれは遂に[illegible]をとつて起つたのである、自存自衞のためのこの[illegible]を[illegible]くまで[illegible]利に向つて[illegible]ひ抜く[illegible]決心を[illegible]した[illegible]は[illegible]くここにあるのである、[illegible]われ〳〵の生存を[illegible]し[illegible]上、[illegible]上あらゆる[illegible]段に[illegible]へてわれ〳〵を[illegible]せんと試みてゐるのである、[illegible]はての[illegible]は[illegible]が[illegible]に[illegible]せしめ[illegible]の[illegible]を[illegible]せんがために[illegible]を[illegible]的に[illegible]するにありと[illegible]してゐるのである、過去三年の[illegible]

反攻を　東へ東へ[illegible]

[illegible]は[illegible]に[illegible]に[illegible]をその[illegible]的使命を[illegible]して[illegible]つたのである、[illegible]において[illegible]も亦西に[illegible]いても[illegible]なく[illegible]しつつあり大ドイツ帝國は[illegible]における[illegible]共に[illegible]大[illegible]を[illegible]し[illegible]の[illegible]を[illegible]して[illegible]しつつある[illegible]において[illegible]しつつある[illegible]である、[illegible]の[illegible]は[illegible]く[illegible]に[illegible]つて[illegible]る、[illegible]の目的は東亞の天地に正義の[illegible]を行ひ[illegible]して[illegible]する[illegible]の[illegible]である、この[illegible]たるや正義[illegible]熱の[illegible]である、われ〳〵は今日この[illegible]なる目的[illegible]のため[illegible]しつつある[illegible]である[illegible]

亞細亞　を解放し大東亞

[illegible]

獨國民深い感銘

【ベルリン二十七日同盟】[illegible]

獨外相放送は延期

【ベルリン二十七日發同盟】三國同盟締結三周年記念日における重光外相とリッベントロップ獨外相の[illegible]放送は[illegible]延期された[illegible]

米英ソ三國會談 近くモスクワで

【ブエノスアイレス二十七日發同盟】ワシントン來電＝[illegible]によれば米、英、ソ三國代表の會談が近々モスクワで開催されるに決定したといはれる

黑田最高指揮官を ラウレル氏等訪問

【マニラ二十七日發同盟】比島初代大統領たるべきものとして[illegible]たラウレル氏は[illegible]アキノ氏及び[illegible]と共に二十七日午前十一時四十五分[illegible]黑田最高指揮官を訪問[illegible]

定例閣議

【東京發】廿八日の定例閣議は午前十時より首相官邸に開催[illegible]

完勝こそ獨立保障
ビルマ獨立慶祝　青木大東亞相挨拶

【東京發】青木大東亞相は二十七日午後一時より大東亞會館に於て開かれたビルマ獨立慶祝國民大會に出席し大要左の如き挨拶を行ひビルマ獨立が大東亞新秩序建設の一大進展であり帝國の道義を核心とする大東亞の結束は何ものもこれを破り得ない旨を强調した

青木大東亞大臣挨拶要旨　今回の獨立ビルマ國の出現は英帝國の東亞支配に對する斷乎たる否認であり、同時に大東亞新秩序の一大進展であつて世界の歷史に一新紀元を劃するものと言はなければならぬ、大東亞戰爭は[illegible]大東亞各國の[illegible]をも不可能ならしめ[illegible]

が國が常に道義に立脚し萬邦をして各々そのところを得しめ兆民をして各々その堵に安んぜしめんとする[illegible]の[illegible]に外ならないのである、又帝國政府の一度び天下に聲明するところは如何なる障害も排除して必ずこれを實行する一貫不動の[illegible]ビルマの[illegible]に立脚した[illegible]大東亞民族の[illegible]

矢野總領事と 獨總領事懇談

【上海二十七日發同盟】[illegible]

十億團結、米英擊滅
後藤翼贊會副總裁强調

【東京發】後藤翼贊會副總裁は二[illegible]

デリーへ共に進まん
バー・モウ氏　獨立委員を激勵

【ラングーン二十六日發同盟】ビルマ國家代表[illegible]

デーニッツ攻勢再開
護衞艦潰滅の新戰法

【ベルリン二十七日發同盟】[illegible]

地方協議會機能强化
行政決戰化の具體方策

【東京發】[illegible]

行政協議會長會議

[illegible]

赤軍巨大な消耗戰

【ベルリン二十六日發同盟】[illegible]

突出部　を[illegible]した

[illegible]

巨大な　消耗戰

[illegible]

人事

[illegible]

ぢ　痔に　オヂは傷や怪我ばかりでなく痔痔日やけなどにもよく効きます お試し下さい　オヂソ

デルモライツ　一ぷくで…三十分　肺炎・扁桃腺炎に

食慾、消化、便通

エビオスの投與は……豐富なビタミンB群の作用により、食慾不振消化不良、便秘、下痢…などの胃腸障碍を整調化して、食物の完全榮養化を計る。

エビオス

大日本麥酒株式會社
大阪 田邊製藥株式會社
東京 株式會社 田邊元三郎商店

主婦之友　十月號　決戰衣生活特輯
敵の空襲と國土防衞　那須少將
北千島從軍記
學徒航空隊
戰時の育兒法
遺族常會
節米食非常食
古綿と有布應用の戰時型更生編物集
秋から冬の婦人勤勞服と子供服

重大責務完遂期し徵兵制の眞髓徹底

けふ 制度趣旨說明懇談會

[illegible]

最大の努力を效せ

長谷川總督訓話要旨

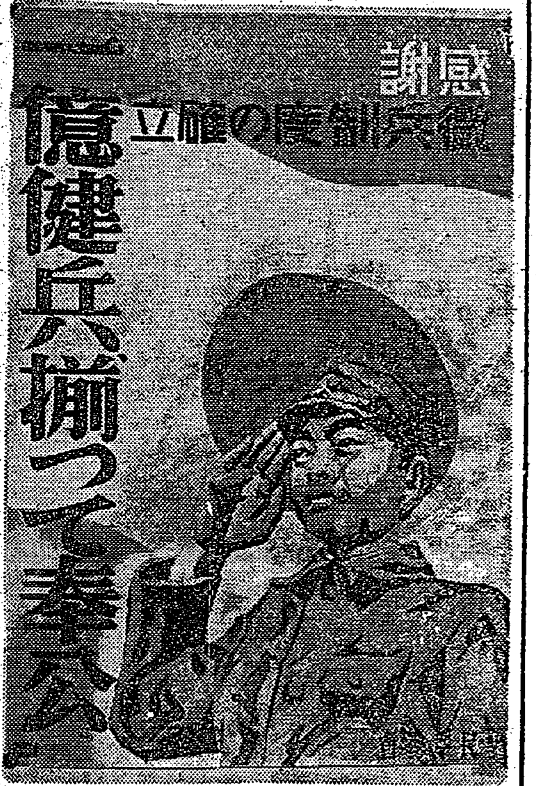
[illegible]

錬成、精進が肝要

齋藤總務長官說明要旨

[illegible]

徵兵制度趣旨說明懇談會



感謝
徵兵制度の確立
健兵揃って奉公へ

婦人の理解深めよ

山內警務局長說明要旨

[illegible]

心身の陶冶向上へ

樋口軍參謀長口演要旨

[illegible]

眞意を徹底せしめよ

伊藤海軍武官口演要旨

[illegible]

大津陸軍少年飛行學校入校被通知者へ

十月一日軍司令部へ出頭のこと

[illegible]

『譽れの家庭』顯彰

光榮の藤井松四郎氏一家

[illegible]

戰爭生活、擧って實踐

日婦臺北支會會員に慫慂

[illegible]

感謝の辭

[illegible]

臺大附屬醫專豫科卒業式

[illegible]

徵兵へ婦人も總蹶起

近く日婦下部組織の常會

[illegible]

臺中高農卒業式

[illegible]

內地北支間に特急通話實施

[illegible]

優良商店表彰

花蓮港商奉團で

[illegible]

皇奉支會長懇談會

中央本部に開る

[illegible]

海外同胞から義捐金

風水害罹災者に深い同情

[illegible]

明朝の番組

[illegible]

後三國志

（出師の卷）

吉川英治作
矢野橋村畫

女衣巾幗（二）(214)

[illegible]

固形
タンゴドーラン
三分間で健康美！
宇野達之助商店

心身活力
ホモダン
東京・大阪　星製藥株式會社

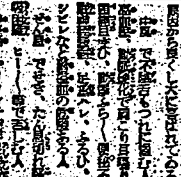
神經痛
筋痛・肩こり
打撲傷・捻挫
獨特の生物學的作用により速かに熱をとり痛みをとる最新の學理的濕布療法です
三十分しっぷ薬
デルモライツ

我等の義務
防空
第一線の兵隊は銃後の爲に命がけでその義務を果してゐるではないか。我ら銃後もまた第一線のために命がけで我らの義務を果さねばならぬ！
本土を守れ！
空に備へよ！
赤玉ポートワイン本舖　株式會社壽屋

婦人科なら
これが理想的！
效果からも
使用上からも
經濟的にも
美神丸

臺灣總督府官報
購讀料一ヶ月金四十五錢
發賣所　臺灣日日新報社各地取次店

ぜん息・神經痛
中風・高血壓
血の「濁り」をとり原因から治療せよ
不治でない



（左研究中の今津博士）

臺灣日日新報
本日夕刊共六頁

臨時議會を召集
十月廿五日、會期三日

【東京發至急報】情報局發表（九月廿八日午後五時）政府は本日の閣議に於て臨時議會召集を奏請する事に決した、召集日は十月廿五日會期は三日間である、召集の目的は現情勢下に於ける國政運營に伴ふ法律案及び豫算案を提出し議會を通じて政府の戰爭完遂に對する牢乎たる決意を中外に表明すると共に國民の結束を愈々强化せんとするにある、尚提出見込の物は左の通りである

（一）豫算案　（二）法律案

（イ）豫算簡易化に關する件
（ロ）司法の簡素化に關する件
（ハ）防空强化に關する件
（ニ）應召議員の職務繼續に關する件
（ホ）兵役法改正に關する件

軍需省の開廳 十一月一日
企畫院、商工省は廢止

【東京發】情報局發表（九月廿八日午後五時）

軍需省設置に關する件

一、現情勢下に於ける國政運營要綱に基き國力を擧げて軍需生産の急速强化を圖り特に航空戰力の躍進的擴充を圖るため軍需生産を計畫的且統一的に遂行確保する目的を以て、軍需省を設置す、右に伴ひ企畫院及び商工省は之を廢止す

二、重要軍需の生産管理の徹底的簡易化、陸海軍官發注の一元化を期するため、陸海軍の主要軍需生産管理に關する業務中必要なるものは之を軍需省に移管す

三、軍需省の設置に伴ふ國家總動員に關する事項、軍需生産に關する事項その他企畫院及び商工省所管事項の大部は之を軍需省に移管す、軍需生産に關する事項中他省の所管に屬するものの中、必要なるものは軍需省に移管す

四、企畫院の廢止に伴ふ物心兩方面に於ける國政の綜合調整に關する事項は内閣に於て簡素强力に之を行ふものとす

五、商工省の業務中軍需生産に關係薄き事項の處置は別途之を定む

六、所要の陸海軍現役武官（文官を含む）を軍需省の職員たらしむるの途を講ず

七、軍需省の機構の案畫に當つては極力簡素ならしむるを本旨とす

八、軍需省は十一月一日開廳を目途とし、關係廳に於て至急準備を進むるものとす

陸鷲フインシハーヘンの敵を猛爆
砲兵陣地など大損害

【南太平洋〇〇基地二十八日發同盟】我が陸軍航空部隊は二十五日午後五時フインシハーヘン附近の敵砲兵陣地及び集積火砲陣地を爆擊しこれに大損害を與へ更に二十六日午前五時四十分頃再びフインシハーヘン附近砲兵陣地及び敵の集積陣地を攻擊、火砲をもつてこれを完全に制壓し大損害を與へた、この日の砲兵陣地爆擊において敵火砲一門が我が命中彈によつて空中高く飛散するのを認めた、兩日とも我方は全機無事歸還した

ブーゲンビルで十一機屠る

【南太平洋〇〇基地二十八日發同盟】ブーゲンビル島に對する敵の反擊は連日熾烈を極め二十六日白晝又も二回に亙り同島東南のわが陣地に殺到し敵はコンソリデーテッドB二四、ロツキードP三八、グラマンT・B・F雷擊機、ヴオートシコルスキーF四U戰鬪機など延べ百三機の戰爆連合で大擧來襲したが、わが方はこれを同島上空に邀擊熾烈な空中戰を交へると共に地上砲火を以て十一機を擊墜した、わが方被害なし

ウエワクでも二機擊墜

【南太平洋〇〇基地二十八日發同盟】二十六日ウエワクにP三八、十五機が來襲、わが航空部隊はこれを邀擊しその二機を擊墜、一機を擊破した、わが方の損害未歸還一機

不逞の在支米空軍
叩かれても猶增强に狂奔

【南京發】わが在支陸軍航空部隊は二十日大陸米空軍の本據昆明に對する大爆擊に引續き二十二日南雄、二十四日衡陽、長沙、二十六日は江西省吉安、贛州、遂川と[illegible]

[illegible]

東條首相參内

【東京發】東條首相は二十八日午後四時參内 天皇陛下に拜謁仰せつけられ[illegible]

戰意

[illegible]

滿國も伊政府承認

【新京二十八日發同盟】滿洲國政府はバドリオ政權の背信以來イタリアの動向を注視、ムツソリニ總帥の新政府組織に好意を寄せて居たが二十七日日本政府を通じてファシスト共和政府の成立並にこれが承認方要請の通告に接したので二十八日午前十時より國務院會議を開き新政府承認を決定、上奏御裁可を經てドイツ政府を通じ直ちにムツソリニ首相兼外相宛この旨通告、同日弘報處より發表された

弘報處發表（二十八日）九月二十八日帝國政府はイタリア・ファシスト共和政府を承認しその旨ドイツ政府を通じムツソリニ・ファシスト政府首相兼外相宛通告せり

生産行政の大刷新

【東京發】政府は二十八日の閣議[illegible]

現内閣成立後七回目の議會

【東京發】政府は二十八日の定例閣議において第八十三回臨時議會の召集を決定十月二十五日を召集日、二十六、七、八の三日間を會期として[illegible]

事變以來臨時議會は六回目

[illegible]

地につく國力增强
岡田衆院議長は語る

【東京發】來る十月二十五日から三日間に亙つて開かれる臨時議會[illegible]

翼政會常任總務會など開催

【東京發】翼政會は二十八日午[illegible]

對議會方針
貴族院

【東京發】貴族院は今回召集さるべき第八十三回臨時議會の使命[illegible]

翼政會は全面協力
一億鐵石の團結要望

【東京發】第八十三回臨時議會の召集決定を見るに至り翼政會では二十八日午後五時[illegible]

[illegible]

赤軍の攻勢目標
ドニエプル西岸に橋頭堡

【ベルリン二十七日發同盟】[illegible]

狂はし

[illegible]

ビルマ

[illegible]

武漢周辺掃蕩

【漢口二十七日發同盟】[illegible]

官廳の地方疎開
定例閣議で方針決定

【東京發】政府は國内態勢强化方策に基き[illegible]

情報局發表（九月二十八日）[illegible]

國内體制の强化へ
三回地方行政協議會長會議

【東京發】第三回地方行政協議會長會議は二十八日[illegible]

東條首相挨拶要旨

[illegible]

土曜半休廢止
全國金融統制會

【東京發】[illegible]

獨空軍活躍

【ベルリン二十七日發同盟】D・N・B通信記者ブライターグ中佐[illegible]

テムルイク市を獨軍撤收

【ベルリン二十七日發同盟】[illegible]

重慶參政會閉幕

[illegible]

地方參事官會議

【東京發】[illegible]

商工辭令

[illegible]

人事

[illegible]

けふの官報

[illegible]

ボルトゴロ港を獨機强襲

【ベルリン二十七日發同盟】[illegible]

キング改題
十一月號 評判讀物
富士
新しき故郷 竹田敏彦
補給決戰勝算あり
兵の語る南海最前線
新連載 バ手民族出の苦心談
時代小說 優 迷 大倉桃郎
小說 留 遇 大林唯雄
熱血小說 高杉晋作 尾崎士郎
小説 御 魂 山岡莊八
海洋小說 濠洲水域 羽田誠
潜水艦戰記 盾
戰陣秘話 花嫁人形 宮本旅人
御豫約か大切
大日本雄辯會講談社（價四十錢）

十一月號
中央公論
八十錢
實踐の道……穗積七郎
日本哲學の建設……田中晃
皇國史の精神……鈴木重雄
國體と言論體制（座談會）大熊信行・穗積七郎・竹下直之・御手洗辰雄・津久井龍雄・小野清一郎・井上司朗
國体の体認……山田孝雄
戰爭目的に現れたる列强……松本愼一
★印度問題
★印度は戰はん……チャンドラ・ボース
★歐洲戰局の新情勢と日本……楠山義太郎
ガダルカナル戰……柏木啓一
生産增强の指導者……川上嘉市
一人の甥に與ふる手紙……島崎靜子
東方の門（絶筆）……島崎藤村

文藝春秋社
大洋
十一月號
海の時局雑誌
海軍技術と科學戰（座談會）
智能の決戰
技術生産戰
戰局の現況……濱田昇一
挑戰敵空軍（對談）
伏見伯のこと……井關
レンドバ以後……近藤
鹽を採らむ……立川賢
再起の基地……神崎武雄
開ゆる軍歌……井上康文
タラワ戰記
敵潜掃蕩記
哨區異狀なし
三重海軍航空隊
南海に鬪ふ攻擊機隊……浅井達三
決戰下の水路部（座談會）

社説

島内企業整備も亦迅速に

[illegible]

食糧增產陣を訪ふ　現地報告

行政的狙ひは見事的中！

更に技術的部面に推進

光る增產助役　高雄州の巻　㈠

具體的 [illegible]

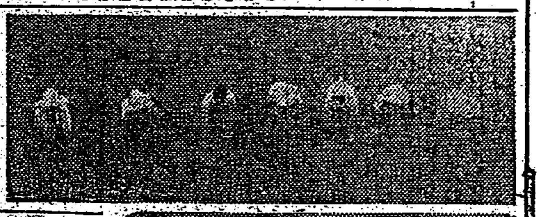
實踐し [illegible]

積極的 [illegible]

燃上る [illegible]

推進力 を十分に發揮せ [illegible]

田畑に [illegible]



南の大空に羽搏く

新鋭陸鷲三種の活躍

[illegible]

新司偵 [illegible]

鍾馗戰鬪機 [illegible]

呑龍爆擊機 [illegible]

精鋭『呑龍』猛爆行

ポートモレスビー　ファブバ飛行場　完全蹂躪

航空記念日の輝く戰果詳報

[illegible]

二十日 ニューギニアのわが [illegible]

この奇襲 [illegible]

玄米、籾等價格改訂

二十九日官報を以て告示

[illegible]

玄米 [illegible]

籾 [illegible]

屑米 [illegible]

碎米 [illegible]

屑籾 [illegible]

專賣局、決戰態勢へ

地方官署長會議終る

[illegible]

鮮魚介公定價等改正案議決

[illegible]

價格指定委　任品目追加

[illegible]

交通局官制一部改正と增員

[illegible]

臺灣帽組合聯合會評議員會

[illegible]

蔬菜定價販賣實現　明春からの豫定

[illegible]

世界戰局を繞る座談會　㈣

最も重大の秋

戰局の現段階と國民の心構

田中氏 只今のお話で私共 [illegible]

樋口氏 [illegible]

大澤氏 [illegible]

金崎氏 [illegible]

伊藤海軍武官 [illegible]

森田氏 [illegible]

高宮少佐 [illegible]

陳蓬源氏 [illegible]

（終）

出席者 [illegible]

兄は南寧、弟は比島に　壮烈護國の神と散る

[illegible]

今日の映画 [illegible]

食慾　消化　便通
エビオス

原料　香水
オリヂナル

カオール
衛生口錠
効能　口中殺菌　健胃整腸　口熱口臭　身心爽快
本舗　安藤井筒堂

東寶映画　決戰の大空へ
主題歌
決戰の大空へ
若鷲の歌
霧島昇　波平暁男
ニッチクレコード

ヨイコドモノ　体錬ニ
毎日缺カサズノメバ身体ヤ頭ノ働キガ活潑ニナル
ともかわ
消化・榮養不良に

お願ひです、時節柄、節約して大切にお使ひ下さい。
パピリオ

再發！
包装24錠
ザーネサイト
株式會社　洋行

兄は南寧、弟は比島に
壯烈護國の神と散る
"譽の家"藤井兄弟勇士

[illegible]

武門の譽兄弟新祭神
陸軍側十五、海軍側一組

[illegible]

大津陸軍少年飛行學校入校被通知者へ
十月一日軍司令部へ出頭のこと

[illegible]

壯烈ビルマに戰死
學究の徒、本間上等兵

[illegible]

[illegible]

惜くも戰病死
林一等兵

[illegible]

來月二日、慰靈祭

[illegible]

きのふ前夜祭

[illegible]

けふ嚴かに執行
山崎部隊合同慰靈祭

[illegible]

厦門の同胞徵兵制に歡喜

[illegible]

長谷川總督激勵行　臺北州農民訓練所の生徒の勤勞を視察する總督（上）新築工場を視察する總督（中）訓練所生徒に訓示する總督（下）

農業精神を身につけ
率先・他の師表たれ
農民訓練所を視察激勵
長谷川總督

[illegible]

農民訓練所における總督の訓示

[illegible]

若鷲へ一擧に十名
花中の學徒、見事合格

[illegible]

念願叶ふ
温傑雄君

[illegible]

來月一日、海軍在鄉軍人簡閱點呼

[illegible]

軍國兄弟

[illegible]

お國へ捧げた五男兒
島都に光る相澤氏一家

[illegible]

軍事知識
「擧國皆兵」の制度
わが國"兵役"の本義

[illegible]

消防機關整備挺身隊
技術者を選拔して結成

[illegible]

つゞく赤誠の國防獻金

[illegible]

海軍航空機獻納資金を獻金

[illegible]

公務員鍊成所第二期生終了

[illegible]

荒木內務省管理局民政課長近く渡臺

[illegible]

男性神經衰弱

無代進呈

かすが野莊

貸借對照表　昭和十八年七月三十一日現在　松井商行

[illegible]

貸借對照表　昭和十八年七月三十一日　松井

[illegible]

東寶國際館　本日八二回

今日の映畫　大世界　台灣劇場　新世界　芳乃館　芳明館　城南映劇　萬華劇場　太平館　第二世界　基隆・陽明地區　中央劇場　基隆世界館　旭劇場　大和劇場　羅東座　宜蘭座　昇平座

基隆劇場

明るい印刷　精美堂

石堂　洋裁　アザミ　小波

遠藤　產婆　女事　女事　女事　女事　寫眞　男女　理髮　求炊　車夫　求齒　受驗　讓店　借家　電話　住宅　古本

古書　寫眞　印書　寫眞　ラジオ　ピアノ　蟲下し　精力　轉宅　荷造　京染　京染　メガネ　斷食　特許　古着　深夜　石灰

公告

當會社第壹回物上擔保附い號社債現在額九百貳拾萬圓也中金貳拾萬圓也及ろ號社債現在額壹千九百六拾萬圓也中金四拾萬圓也ハ定時償還ニ代ヘ買入銷却致候間此段公告仕候

昭和十八年九月貳拾九日

臺灣電力株式會社

臺北秋競馬

（投票券拾圓）

十月二日（土）三日（日）九日（土）十日（日）

十月十五日（金）十六日（土）十七日（日）

於北投臺北競馬場

主催　臺北州畜產會

父從六位箕山晴一儀去ル三月十九日高千穗丸ニテ歸任ノ途次遭難仕リ候間茲ニ在世中ノ御厚誼ヲ深謝シ此段御通知申上候

昭和十八年九月二十九日　臺北市明石町五ノ四九

女　箕山雅子
妻　箕山治豐
親戚代表　中川龍一
　　　　　田中國一
友人代表　松木次郎

父金城政厚儀（豫而帝大附屬醫院ニ於テ加療中ノ處昨二十八日午前一時三十五分永眠仕候間生前ノ御厚誼ヲ拜謝シ此段謹告仕候

昭和十八年九月二十九日　臺北州七星郡士林街

男　金城政輝
妻　トヨ
親戚代表　牧志眞喜
　　　　　金城政明
友人代表　後宮信太郎
　　　　　東充國
　　　　　工藤耕一
　　　　　柏熊福太郎
　　　　　小林章
　　　　　谷國三郎

當社取締役支配人金城政厚殿（豫而帝大附屬醫院ニ於テ加療中ノ處九月二十八日逝去被致候ニ付テハ來ル三十日午後四時東本願寺ニ於テ葬儀相營ミ可申候間此段謹告仕候

昭和十八年九月二十九日　臺北州七星郡士林街

臺灣製紙株式會社

空こそ僕等の決戰場
若人よ空へ續け！
屏東市から少年兵二人

【屏東】近くぞ米英撃滅の大空へと本年七月陸の若鷲を目ざして少年航空兵の入試に應募[illegible]廿六日東京陸軍航空學校より採用決定の通知を受け近く上京する、屏東市から二少年、屏東市大宮町一ノ一〇許來成君（一七）同旭町一一林天來君（一八）は共に本町二ノ九九代書業[illegible]氏方に働いてゐたが[illegible]「共に征かう」と誓ひ合ひつつ心身を鍛へ本年度の少年航空兵採用試驗を受けたものであるが合格の通知を手にした二人は喜びを顔一杯に浮べつつ次の通り語る

許來成君　僕は前に一度少年航空兵を志願して合格し本年四月頃喜んで內地に參りましたが再檢査を受けましたが"トラホーム"のため入學が出來なかつたので空しく歸還しました、實に殘念で堪りませんでした、それに兄の許[illegible]（二〇）も本年〇月志願兵として〇〇に征きましたので僕はどうしてももう一度受けやうと一生懸命トラホームの治療をして待つて居りました、こんど合格して學校に行くことになりましたが今度こそ再檢査も絕對大丈夫だと思ひます、[illegible]本島人青年が[illegible]軍人になれることになりましたが僕は一足先に立派な航空兵となつて大空で米英の奴等を存分にやつつける覺悟です

林天來君　僕は來成君と一緒に働いて居たので自然に大空への憧れを持つ樣になりました、僕は四男ですが長男次男の二人の兄達が海軍軍屬と特設勤勞團とに出て居りますので僕も軍人になりたくて堪りませんでした、父に願つたら「兄達に負けない樣にウンと勉强して立派な軍人になれ」と許されたので來成君と共に受驗しました、合格通知を受取りましたが本當か知らと夢の樣な氣持です、幸ひ入學が出來ましたらしつかりやる覺悟です

△姚文章君　[illegible]一杯で居る[illegible]の出來る日を樂しみにして[illegible]一家一門の光榮これに過ぐるものはありません幸ひ入學を許されましたら本島青年のため皆さんの御期待に背かぬ樣頑張り身命をなげうつて御國の爲御奉公する覺悟です、今後もどしどし大空へ本島青年の進出をねがつて止みません

△林理政君　は折柄不在中で[illegible]父林[illegible]氏は次の如く語る　[illegible]航空兵を[illegible]で相談を持ち掛けられた時大に[illegible]してやりました、通知を受け[illegible]は心配なのか毎朝[illegible]にお祈りをして居るがその姿は[illegible]いものがあり[illegible]の子が六人も居ますので皆[illegible]の一員として御奉公させたいと思つて居ります

宜農からも二人

【宜蘭】少年飛行兵に二人の先輩を今春送つた宜蘭農林學校では今度第二陣を送ることとなつた、その一人は市內[illegible]林田榮吉氏の長男榮人君（一[illegible]）で四年に在學中であり、もう一人は[illegible]の長男[illegible]君で三年に在學中である、林田[illegible]「[illegible]お國に[illegible]」と喜んでゐる、[illegible]は宜蘭小學校時代から運動選手で目下は木炭增產のため宜蘭の造林地へ入つて汗に塗れてゐる[illegible]この朗報が齎せられたのである、松林[illegible]男君（改姓名）は母一人に育てられてゐるが理解ある[illegible]の下に受驗したもので「本島少年同胞のために大いに頑張ります」と張切つてゐる【寫眞は林田榮人君】

一生懸命頑張る
藤田君謙遜して語る

【宜蘭】今次國の少年の夢は「一日も早く少年飛行兵になつて御國のために鬼米英を擊滅する」にある宜蘭[illegible]の少年飛行兵の應募者多數ある中から榮ある採用通知を受けて[illegible]高鳴らせてゐる少年の一人宜蘭市[illegible]藤田[illegible]氏の[illegible]男哲雄君がある、[illegible]今春臺北市立臺北工業[illegible]卒業後[illegible]出張所に勤務中だつたが大空への希望に燃えて[illegible]てゐる【寫眞は哲雄君】

[illegible]いことをするのに何故[illegible]「よかつた」と所長に[illegible]「大いに頑張れ」と激勵を受けた、哲雄君は[illegible]新聞には出さないで下さい、多勢のゐるんですから、それに當然なことをしただけなんで別にありません、入校出來たら一生懸命にやりますよ、ただそれだけですよ[illegible]因みに同家は五男一女のうち四人まで[illegible]、中の一人も[illegible]につて少年飛行兵になるべく張切つてゐる

大空で存分に働く
彰化市、晴の三君語る

【彰化】徵兵制度施行決定に感謝[illegible]彰化市から更に決戰の大空に羽ばたく明日の荒鷲として本島人三少年が[illegible]の[illegible]郡出身[illegible]の三少年[illegible]彰化市最初の本島人少年飛行兵として[illegible]、[illegible]長谷川健次氏[illegible]次男[illegible]彰化商業[illegible]及[illegible]氏長男文[illegible]の三君で日頃の念願かなつた

その喜びと感激は一入深きものがあり決戰の大空へ[illegible]本島少年の憧れの[illegible]る以下は三少年の[illegible]感激談である

△長谷川健次君　合格通知を受けた時は[illegible]した。血が湧き肉躍るとは私の今の氣持です、入營後は心身の鍛錬に邁進し一日も早く[illegible]の大空を[illegible]存分飛び廻つて自分の腕前を[illegible]に見せてやる積りです。

同君の父[illegible]氏談　將來ものになるかならぬか判らぬが一生懸命[illegible]

十月三日より軍援强化運動
各地の運動行事決る

臺中州　【臺中】國民の[illegible]銃後を昂揚し相率ゐて戰力增强に努め前線將兵をして後顧の憂ひなからしめ、まず軍人援護の强化を圖るため來る十月三日から八日まで六日間全國一齊に繰展げられる軍人援護强化運動に呼應し臺中州でも左記の通り盛澤山の行事を實施し軍人援護の完璧を期することとなつた

△三日　勅語奉讀式、午前於州正廳、祈願祭（各市郡主催）祈願祭正午

△四日　慰靈祭、午前十時於臺中公園廣場、遺族慰安映畫會、午後一時於臺中座

△五日　遺族慰問、臺中市內（知事）他市郡は市長郡守をして代理せしむ

△六日　遺族慰問（同前日）

△七日　軍人遺族懇談會

△八日　常會を通し銃後精神を期する、其他

高雄州　【高雄電話】皇奉高雄州支部では十月三日より實施される軍援强化運動に呼應し軍援銃後精神の昂揚國民意識强化を圖るため三日より高雄市を皮切りに十一日迄岡山[illegible]て計畫してゐる

臺南州　【臺南電話】大東亞戰下銃後州民の感激を昂揚し前線將兵をして後顧の憂ひなからしむるべく臺南州では軍人援護の强化徹底を期し來る十月三日より八日迄の軍人援護强化運動に呼應して左記行事を[illegible]

旗山、岡山、屏東、里港、潮州、東港、恒春の各市郡庄に於て講演並に映畫會を開催するが講師には州支部役職員を派遣し映畫は「海の母」外ニユースである

一、出動軍人[illegible]遺族慰問（香華料贈呈）

一、傷痍軍人、出動軍人の家族慰問及び應召又は現役軍人の家族慰問會及び映畫會（三日より八日迄州下各市郡にて實施）

三、[illegible]傷病兵の慰問

四、軍人援護强化運動宣傳看板の揭示並びに、宣傳紙五十萬枚の配布

五、[illegible]軍人[illegible]奉[illegible]行（八[illegible]

山の遺家族へ暖い援護

【花蓮港電話】十月三日から銃後[illegible]げられる秋の軍事援護强調週間を前に花蓮港廳林田部二ノナン社では[illegible]氏[illegible]の遺族[illegible]十六軒に對し[illegible]山を[illegible]げて暖かい援護の手を差伸べ奉仕[illegible]しく[illegible]る人々を感激させた

皇奉高雄州役職員
蔬菜栽培情況一齊に視察

【高雄電話】皇奉高雄州支部では[illegible]州下部會の活潑なる組合を去る二十三日[illegible]察したが[illegible]からは二十[illegible]和美、花壇[illegible]、三[illegible]に[illegible]組が夫々入選[illegible]して本運動に一層拍車が加へられる事となつた、今まで各地に行つて來た常會視察は時間の關係で[illegible]の他外面的なものに過ぎなかつたが今回は視察箇所を丸一日がかりで一から十まで見る方針で視察者も[illegible]自轉車を利用し有效に視察の目的を達成する計畫であり[illegible]

[illegible]八日八十二回となつて居り、組合員一人の[illegible]八組[illegible]一大決戰[illegible]運動を見学に[illegible]

錬成道場設置計畫
關西庄の街昇格記念行事

【新竹電話】一日から施行される新竹郡關西庄の街昇格記念行事はお祭り騷ぎ的な一切の祝賀行事を廢止し當日早朝の新竹神社への奉告祭、嚴肅なる祝賀式の外適宜に[illegible]した[illegible]を[illegible]決定した[illegible]せてこれが[illegible]の日に[illegible]る[illegible]錬成道場、公共運動場を新設並に[illegible]に寄與する[illegible]事業として計畫してゐる

命關西街長　湖口庄長　今井雄峰
依願免職　關西庄長　池田要安
命湖口庄長　新埔庄長　鈴木保吉
命新埔庄長　關西庄助役　岩崎[illegible]
命湖口庄長

美濃神社の御造營
街昇格に種々の計畫

【高雄】全島[illegible]では州下一を誇る旗山郡美濃庄が多年の希望が適へられて十月一日の自治紀念日を期して街に昇格することとなつた此の決戰の[illegible]中に[illegible]を[illegible]ち得た同庄では記念日をして[illegible]あらしむべく同日は[illegible]より御制施行の記念式を[illegible]自治功勞者の表彰式を行つて[illegible]提大會、映畫會を開催する等[illegible]年も有意義な祝賀行事を計畫中であるが更に又廿三日の徵兵制施行の發表を聞き重なる感激に三萬庄民は[illegible]してゐる、[illegible]同庄では[illegible]制記念にとも多年の計畫であつた美濃神社の御造營を愈々十九年度より着手することになり併せてその神社の外苑には青年學校を新築することに決定した、美濃庄に[illegible]長を訪へば昇格と徵兵制の喜びにその決意を次の如く語つた

三萬庄民が多年の望であつた街昇格が實現されることになりまして[illegible]へるに又徵兵制の施行が發表されまして庄民[illegible]げて[illegible]唱し[illegible]の擴大に[illegible]に[illegible]滅私奉公を誓つた次第であります、今後は特に[illegible]一致協力して邁進すると共に立派な軍人となり得る青年の育成に御奉公する覺悟であります

【新竹】新竹州では一日から施行

新竹州庄長異動

州民の士氣昂揚へ
臺南州大詔奉戴日に種々の行事

【臺南電話】皇奉臺南州支部では大東亞戰の大詔渙發の佳日を期し士氣昂揚に資するため來る十月の大詔奉戴日より率先公報奉讀隊又は紙芝居の街頭進出青年團、婦人會[illegible]、女子青年團及び奉公班[illegible]の如き有意義な行事を實施して大詔奉戴日に於ける一段と州民の士氣昂揚に努めるべく各支會宛通牒を發した

けふ增產、供出の優良庄表彰
―臺中州―

【臺中電話】臺中州では二十九日午後二時より州正廳に於て一期作米增產並に供出に關する優良街庄及[illegible]行者表彰式を擧行するが當日表彰される優良街庄は和美庄、[illegible]西庄、[illegible]である

產組決戰貯蓄は好成績
優秀組合を表彰

【彰化】臺灣產業組合聯合會臺中州支部では先般實施された產組第一次決戰貯蓄運動に於ける成[illegible]

空襲必至に備へ
學徒防空隊の强化策練る

【臺南電話】今次大東亞戰の苛烈なる推移に伴ひ全學徒を擧げて國土防衛に挺身すべき決戰學徒の動員は道義[illegible]をみた[illegible]防空指針に依り學徒に負荷される防衛の任務が一段と加重され民防空と緊密なる連繫の下に國土防衛の[illegible]が明確にされて來たので州では之に對應して學徒防空隊を向後一段と强化し[illegible]空襲必至の[illegible]下に[illegible]不動の學徒防空態勢を確立せしむるべく十九年度豫算編成を控へて之が强化案を練つてゐるが、空襲時警察署長の指揮下に防空活動に任ずるための施設計畫と訓練は今後一段の强化を見る事になり之に伴ひ十九年度は[illegible]その他の施設計上が見込まれてゐる

高岡代議士高雄視察日程

【高雄電話】奉公[illegible]高岡代議士は一日午前十時五十分の下り列車にて來高、同日は市內奉公班の[illegible]視察並及び工業地帶を視察し二日は岡山[illegible]の共同作業を三日は屏東の[illegible]四日は東港、高丹の[illegible]に於て[illegible]の[illegible]及び[illegible]栽培狀況を視察して五日上北する[illegible]行先の各市郡では[illegible]時間に[illegible]り內臺人有力者と懇談する事になつてゐる

國語不解者一掃へ
明知市長國語塾を激勵

【宜蘭】國語不解者一掃に大[illegible]宜蘭市では各區會主催の國語塾が開設されて國語普及に全面的に拍車をかけつつあるが、明知市長は去月二十四日夜本町東[illegible]を訪問[illegible]區會の九國語塾を歷訪各塾に於て[illegible]激勵の辭を與へたが、引續き二十九日[illegible]町、三十日[illegible]町、一日[illegible]町、二日[illegible]町、三日[illegible]町の順で巡視各區會毎に全國語塾を[illegible]激勵して國語不解者一掃に努めると

獻馘碑慰靈祭

【宜蘭】獻馘碑慰靈祭は[illegible]二十七日午前十時から公園內[illegible]前に於て市長、[illegible]、郡守、[illegible]、[illegible]代表等百[illegible]名參列の下に嚴肅に[illegible]れたが例年にひきつづいて明知市長、[illegible]が[illegible]として祭文を以て[illegible]者二百三十五柱の靈を慰め且つこの慰靈祭を行ふとして毎年執行することを[illegible]ひ、引つづき[illegible]、[illegible]代表、[illegible]代表、[illegible]市民代表[illegible]を捧げ[illegible]を[illegible]し明知市長から挨拶があつて十時四十分式を閉ぢた

若人百萬の蹶起促す
青年文化常會全島に檄

"徵兵制"……本島同胞の頭上に燦然と下るこの快報に[illegible]青年文化常會では左記の如く"檄"を發し、全島百萬若人の蹶起を促した

檄

九月二十三日午後六時、初秋日本晴れの夕映燃ゆるとき『本島同胞に對し徵兵制施行』の發表をみる。ああわれら、水漬き草蒸す屍の純忠ひたむきに、默爾し來たつたこの徵兵制、大君みそなはせ給ひ、われらに賜ふ。ああ感涙ただ滂沱とわれら泣きて深かにおろがみ奉り、臣民の氣に身も縮み恐る。本島同胞に、同胞に……ああ此の詔、皇國大愛の懷に育まれ來たつたわれら、いま更らの如く同胞の詔に、同胞の名に、わが胸ただ宮柱に燃ゆる。かしかし、われらは思ひわれらは恥づる。徵兵制施行慶賀のひたむきなるあまりに反つて己れの心身錬磨を一日たりと怠ることなかりしかと。榮譽のこの日、われらは更らにこの恥らひの想を深うする。つはものとなるの道、それは單なる義務の道ではなく、況して權利への道でもない。一に死生を超えての演錬への道であり、大君の辺に咀嚼[illegible]の死に榮光の屍を捧げたへむよろこびに出づる皇國男兒至上の道である

二十三日午後六時を[illegible]に「やれ」と[illegible]しさただ[illegible]すると誓ふる者は一人もゐるまい。あれば、われらは斷じてこれを許さず。「汝、身を通じて祖國を[illegible]ひする」ことなきを不忠者」と峻烈の鞭を加ふるのみだ。申すも畏多きことながら陛下の股肱たるの名に恥ぢず、けふよりは赤誠の精錬と苦闘を誓はう、日本人だ、わが身のつづく限りわが魂魄を傾注してたとへ演錬の途半ばに斃るとも、われは神州不滅、否、神州彌榮の悲願の鬼として[illegible]に皇國日本を護るのだ、かく誓ひ、かく思ひ[illegible]われらぞ、天地神明も[illegible]あれ、內地同胞の兄姉は括目して見られよ、百萬青年若者、ゆかう

徵兵制感謝決意表明講演會
宜蘭市意氣盛ん

【宜蘭】本島同胞に[illegible]兵制が發布される昭和二十年度から施行されるとの發表に全國津々浦々にまで昂がる歡呼と感謝の聲は二十四、五、六と三日間に亙つてどよめきぬいたが宜蘭市では廿七日午後三時から宜蘭國民學校講堂に於て宜蘭市奉公班年團主催の『徵兵制感謝決意表明講演會』が開催された[illegible]が諸氏は宜蘭[illegible]、宜蘭中學校の生徒並に青年團員其他[illegible]ら仕事[illegible]の[illegible]二十[illegible]など五百[illegible]名を以て埋められ國民行事について[illegible]年の使命と[illegible]を說き[illegible]運民は『軍神に續け』と題して決[illegible]かけ[illegible]ひて[illegible]『感謝の徵兵制』の[illegible]下に本島同胞の徵兵制に[illegible]する[illegible]の[illegible]『一路征へ』と[illegible]し[illegible]の本義より說き起して[illegible]年の[illegible]を[illegible]して五時終了した

軍援宜蘭市分會で洋裁講習

【宜蘭】軍人援護會宜蘭市分會では洋裁技術の習得と婦徳の涵養のため出征軍人遺家族洋裁講習會を來る十一月一日から本町宜蘭支廳[illegible]で開催することとなつたが講師は洋裁講師として[illegible]氏外[illegible]、講習期間は十月一日より明年三月卅日迄の六ケ月間で受講者は遺家族に限り定員は二十[illegible]名となつてゐる[illegible]申込は九月三十日午前中までに

臺中市會

【臺中電話】二十三回臺中市市會は二十八日午後二時から市民館に

州街庄便り

國國旗授與式　**三十日新竹州警防**

【新竹電話】新竹州では來る三十日午後一時から新竹[illegible]社大前で州下四十一の警防團に對し新[illegible]授與式を擧行する

羅東街　▲國土防衛の完璧と防空陣の强化を期するため羅東街では同街內奉公防空群長及副群長を參集せしめ廿七日午前九時から[illegible]訓練を實施したが防空長士は非常に張切り必死必中を目指して各種訓練に必死となつて防空技術を錬磨し午後四時好成績裡に終了した

頭圍庄　▲皇奉頭圍庄奉公壯年團では二十六日午後八時より頭圍信用組合樓上にて佐々木視學が臨席、青年團、警防團壯年團其他多數參集の下[illegible]兵制度決定感謝[illegible]を開催した

板橋街　▲板橋街では本島同胞に[illegible]徵兵制施行決定の報に接し感謝の誠を捧げる爲め去る二十六日午前六時坂本、奥[illegible]部長以下[illegible]打揃つて海山神社に正式參拜し午後八時より十時迄街公會堂に於て[illegible]東[illegible]名參集の下に徵兵制度實施決定感謝講演會があつた

ラヂオ

◇ 周波【第一】七・〇〇　九・〇〇　一〇・〇〇　一二・〇〇　三・〇〇　五・〇〇　八・三〇【第二】[illegible]

第一放送

◇六・四〇　[illegible]（臺北）◇七・三〇　[illegible]（東京）

◇七・五〇　[illegible]（東京）

◇九・〇〇　[illegible]

◇一〇・〇〇　幼兒の時間（大阪）

◇一一・〇〇　國民學校放送（[illegible]年生の時間）（東京）[illegible]旭川、東京、京都、宮崎より

◇一一・四五　[illegible]（東京）

◇〇・三〇　吹奏樂（東京）一、行進曲「ゆるがぬまもり」[illegible]

◇一・〇〇　管絃樂（[illegible]）（東京）交響曲第九十九番[illegible]（ハイドン作曲）

◇一・三〇　國語普及講座（臺中）

◇二・三〇　[illegible]

◇四・〇〇　國民學校放送（教師の時間）（東京）[illegible]

◇六・〇〇　少國民の時間（東京）シンフン、[illegible]

◇六・三〇　合唱と管絃樂（東京）アッツ島[illegible]

◇六・五〇　[illegible]（東京）

◇七・五〇　[illegible]

第二放送

◇四・三〇　[illegible]

◇六・〇〇　少國民の時間（第一放送に同じ）

◇六・三〇　[illegible]

◇六・五〇　軍歌（管絃）一、[illegible]

◇七・四〇　[illegible]

◇八・〇〇　[illegible]

◇八・二〇　[illegible]

◇八・四〇　[illegible]

◇九・〇〇　[illegible]

赤誠の獻金品

軍司令部

徵兵制度祝賀獻金　[illegible]

海軍武官府

國防獻金（九月十五日―二十三日）　[illegible]

訂正　二十五日獻金品報中[illegible]

國防獻金（九月二十七日）

[illegible]

恤兵金　[illegible]

獻品　[illegible]

椰子 (74)

梅野十三作
村上松次郎繪

研究所 （五）

帆村北吻の行方について、帆村の持つてゐる[illegible]は、一見平凡に見えるが、しかしよくこれを檢討すると、彼がかなりに正確な判斷をしてゐることがわかる。

彼は風變りな[illegible]の持主であつた。彼は元來科學者であつて、或る研究所で、七年間に亙りこつこつと[illegible]の研究をやつてゐた。そのとき彼ははからずも奈方面に出張を命ぜられた。しかし何ところが、[illegible]へいつて見ると、か[illegible]の御用がさつぱり分らない。と

彼は出張先で、自分が[illegible]したが、大したものではないと思つてゐた[illegible]が、國防的に非常に重大な役割をつとめて居るのを見て、大きな[illegible]に[illegible]れ、その[illegible]を抱きしめてやりたいほどのいぢらしさを感じたのであつた。このときから、彼は[illegible]として國防、國家[illegible]の科學技術こそ、眞の科學技術であることを悟つた。今まで出[illegible]の[illegible]であつたものは、[illegible]ユダヤ[illegible]技術であつて、ユダヤ勢力のためすつかり[illegible]され、[illegible]を[illegible]られてゐたことを知つたのである。

この[illegible]が、彼に强く働いて、彼は[illegible]として新しき[illegible]につた。彼は、今日何よりも[illegible]の急に迫られてゐるものは、國防手段に科學技術を[illegible]させることだと考へた。そして彼は、[illegible]の中で動き始めたのである。

彼は過去に於て自分のものとした科學技術を[illegible]あたらしい仕事に應用することに努力した。そのために彼は[illegible]な[illegible]をつくつた。

數日間、川田加太郎などの[illegible]の力を借りた[illegible]、[illegible]の[illegible]の考案になるものであつた。彼はおよそ[illegible]といふやうな仕事は、どうせ[illegible]をうける相手が自分に都合のよいことしか[illegible]ないのであるからして、相手の返事だけで黑いか白いかを判斷しては誤りが少くないと考へ、それには是非とも相手の心理[illegible]を[illegible]に計算することによつて黑いか白いかを判斷するのが、ずつと正確にいくだらうと考へた。[illegible]これはその通りであつた。

この風變りな科學探偵法は、[illegible]得た[illegible]により、今東京へ飛ばうとしてゐるのだつた。しかも一分間でも早く東京へ[illegible]したいために、彼はまた[illegible]飛行中の[illegible]を[illegible]んだ次第であつた。

[illegible]つて彼は研究を完成した[illegible]は、[illegible]の研究所が彼を迎へたのであつた。彼はそこで始めて、[illegible]を知ることができた。彼が國防といふことを考へるやうになつたのは、そのときが始めてであつた。[illegible]の科學者は、科學に國境なしといふやうな考へを持つてゐた。ところが、國を[illegible]るといふ事が[illegible]科學技術を[illegible]する[illegible]があつた。今から考へると、まことに奇怪にして、[illegible]な[illegible]であつた。

帆村北吻の[illegible]は、[illegible]にも右に述べたやうな[illegible]め、彼は[illegible]と自分たちの過失に氣がついた。科學にも[illegible]と國家とが[illegible]することを悟つた。[illegible]何の科學者ぞ。何の科學技術ぞといふことを深く考へさせられた。それとともに、日本人同志の間に、あまりにも[illegible]がなく、あまりにも[illegible]があり、そのために日本の科學技術の[illegible]が非常に不[illegible]であり、從つてさらに見るべき成果のあがらぬ[illegible]を見極めたやうに思つた。

小西六寫眞工業株式會社

さくらフヰルム

さくら印画紙

●頭痛にノーシン●

祝徵兵制度施行決定
30日封切
さくら
我等が榮譽の徵兵制
進め若人軍旗の下に
笑ひの巨彈
あさ出た！
こぼれるやうな愛嬌
（笑つちや嫌よ）
河村黎吉の[illegible]登場！
笑ひの至寶陣張切り大競演
80錢税共
タイゲキ上映
台灣興行統制會社配給

健民强兵

豫防は治療に優る
治療は早く專門醫へ

（順序不同）

小兒科 關屋醫院 院長 高橋一松（病室有）[illegible]

產科婦人科 鶴田醫院 院長 鶴田喜代馬（病室有）[illegible]

眼科 塚原醫院 院長 塚原義夫（病室有）[illegible]

內科・小兒科 內藤醫院 院長 內藤誠一（病室有）[illegible]

小兒科 武藤醫院 院長 武藤三五郎（病室有）[illegible]

眼科 牟田口醫院 院長 牟田口義隆（病室有）[illegible]

耳鼻咽喉科 藏田醫院 院長 藏田恒人（病室有）[illegible]

外科 菅野醫院 院長 菅野尚夫（病室有）[illegible]

內科・小兒科 樋詰醫院 院長 樋詰正治（病室有）[illegible]

小兒科 山本醫院 院長 山本宗三郎 [illegible]

產科婦人科 福田醫院 院長 福田義雄（病室有）[illegible]

內科・小兒科 天野醫院 院長 天野一男（病室有）[illegible]

內科放射線科 淺井醫院 院長 淺井政雄（病室有）[illegible]

內科 秋山醫院 院長 秋山爲夫（病室有）[illegible]

皮膚科泌尿器科 三根丸醫院 院長 三根丸須美人（病室有）[illegible]

小兒科 里井醫院 院長 里井汎津 [illegible]

小兒科 石井醫院 院長 石井義男（病室有）[illegible]

耳鼻咽喉科 宮島醫院 院長 宮島靖（病室有）[illegible]

內科・眼科 森醫院 院長 森三郎 [illegible]

耳鼻咽喉科 菅村醫院 院長 菅村三良 [illegible]

小兒科 嶋田醫院 院長 嶋田勇 [illegible]

外科 菅沼醫院 院長 菅沼三郎（病室有）[illegible]

耳鼻咽喉科 早田醫院 院長 早田繁（病室有）[illegible]

內科・小兒科 富田醫院 院長 富田勳 [illegible]

內科、小兒科 東門醫院 院長 阿達英次郎 [illegible]

小兒科 信生堂醫院 院長 森田豐子（病室有）[illegible]

外科・整形外科 富田診療所 所長 富田正子 [illegible]

內科小兒科 桑原醫院 院長 桑原太四郎 [illegible]

耳鼻咽喉科 德久醫院 院長 青木秀郎 [illegible]

眼科 郭醫院 院長 郭水泉（病室有）[illegible]

[illegible] 保生醫院 [illegible] 光朝 [illegible]

外科 洪病院 院長 洪源火（病室有）[illegible]

皮膚科 泌尿器科 吳醫院 院長 吳汶[illegible]（病室有）[illegible]

內科、小兒科、放射線科 四方醫院 院長 施江南（病室有）[illegible]

內科、小兒科 達莊醫院 院長 高木達莊 [illegible]

內科、小兒科 濟世醫院 院長 楊本 [illegible]